田田地帯に辿び込み、刻々と一顆独七十年キロに及ぶわが大団闘

西は湘陰より東は平江の線に至

化谷、國井などの諸部隊は二十

削突症受職、大郷、重信な一た態態を履行中である

東京電話】試煉の一年、

伊園図のみが選早く職洲國を承認 翌万にもかかはらず職化の一途を

かかる傾向

獨伊兩國 進んで帝

ロンドン特電【廿四日 發】世三日的デイ

米の慫慂で强硬申入れ

スは過数振り戦線へ戦闘機関

英空軍參加

コーヒーを擦除し

後兵保険は

又前進した!

ちゃ、見も知

はよいが、客人

に保険金支持範圍拡大 製造保険金の支持 対場保険金の支持 不合格でも小割支持

倒兵保險の開祖

歌は意識成の依郷をうけた時は郷勢に支端のない限り海軍大臣と戦は意識または民間より航空長器の遺縁、その指導またはその

【ベルリン二十五日同盟】蜀軍富 | 赤瀬は 歩兵部隊及び 戦車を署つ

近】

ム鐵道を遮斷 レ市の運命感よ迫る

足によってこれに聴することになってゐる

英、芬蘭を恫喝

壮絶なる殲滅戦展開

程ひに抵抗する順面の要重雑型山 つあるが、二十四日夕郷に至り、 の関係を影響、平即五時には死物 | 戦は逃一 | 歌南方に向け陽解され

す一般に無田を自分すて楽造。 敵魔大を探して重敵後は忠敵なる前輩上頭を打ひ中後四周ごろ同事を派職、わが江上艦隊は蒙日神に進行す一般に無日でく1 下四日皇朝より職労を開始、海上からの盟職と監督の基礎により同日正下ごろ寒田が終に火魃に或まれるや職隊は機を逃せ坂畯すべく1 下四日皇朝より職労を開始、海上からの盟職と監督の基礎により同日正下ごろ寒田が終に攻慰して那らいに職権に護院が開め、東職総田を下のりが関係が東職の軍職の東職総田を

る敵の抵抗を排して營田に上陸遂にこれを占領したり

積極的に上めろとはな

が ないでが、それが

の將軍と見立てよ防衛に優か

おける交通、商業の要地域ある

窓ら段上、悪魔犬と中するのを我一日の死官曹瀞の際上「司法書献と」した、同殿は遺滅石を極戦チュは離ळ網駐けわが直撃撤金がけて一が、右に関し大濠司法死官は中五、イギリス祭司に変化された言歌

日の次官會議の第上『司法管局と

レツクス街からマル

中を歴沈されたも

の要領株州を猛爆

かけ戦線は鬱竜の昼夜に対験は影楽に 嚴多將軍

食·酒

からも別め出しを真ふ総果は像のもりである」といっぱ、質然 し得るものと見なければなら

保殿原生の脳から考へる時、在は敬賀行政の立場からである。 運動競技に到する功罪は、お

として来たとについては ころであるo たゞ中時に於て

わが陸戦隊精鋭

强襲 営田を攻略す

洞庭湖水域完全に制壓

五日發表 = 海軍陸戰隊は二十四日午後四時强硬な

四十キロの土色に変を形はして「として知られるとともに謝用者」を認識の実施、原治・原子・原用が、ほぶ相方・交叉域で人に成す馬、石蔵の部・「神田が上海、高速・原瀬南部道、

域における地上作戦に協力し空部隊は秋晴の好天を利して 空部隊は秋晴の好天を利して重慶を爆撃、また一隊をもつて岳南地への○基地二十五日同盟中支艦隊報道部二十五日竣表=二十四日航 の一敵機を爆破 海鷲、重慶の敵飛行場を急襲 湖南敵陣にも巨弾

ともせず敵戦闘指弾所、格絃庫に一に營田南方および鎌口江(登田西 城附近において敵兵巻戦を徴除

を大磯しさらに飛行場にあつた敵「底的態略を取行」。敵に大道器を興、鏖乱をした |昭徽||家住民田田におけるわ||家郷(いづれも湖里市)の各職議||【泉京第記]|政府は時間の東大学。しては即日を編上方法に蔣さ省や下野に関係の作職に協力、十數回||事度最を用ついて攻撃、範に拡大。| に総今・即年度國家法職は特に助||戦闘を進めてゐる。第述べ各次1度にわけるわ||歌郷(いづれも湖里市)の各職議||【泉京第記] 政府は時間の東大学。しては即日を編上方法に蔣さ着々にわけるが「東京」 別半にわたつてには、電感、傷は

海軍航空廠を創設

きのふ刺合公布から電施



イラン前國王

商

中四日回恩] バルス通 中の報道によればイラヴザ・シャー・パーラヴザ・シャー・パーラヴァンを出棄、サンダル・ ンにご命するはずた、同語より印度

定議づき戦後の食働艦、ツ 世四日同盟1 寒域、ツ 世四日同盟1 寒域、ツ ボール添フランスその 瀬各國政府代表を翻巻 瀬各國政府代表を翻巻 瀬名國の海は中四日イ

業 說

光彩陸離た

せのため廿四日大邱収測長・産門組合整

奶吐長)繭洲脈行

等の保有様などはつは食料品原料資材を の廣州なブール保するため聯合 家を確場一致可決 【刊新段】

字贈和葉四郎間・校園豊瀬町尻量基間をよるにあるとのである。

ての後

¥一・大〇 (送料一四)

一政府は二下四日フランス総物版「ウイシー二十四日回盟」ウイシー

十五師原と順英武器をはいている。

世界

竹

武器ならびに装続れ基、解機關と、何十門、迫

最新刊

文祥著 等 6 州三百页圖入 ★有事即應の用 本税の敗で特面と一個な後巴 期間 る敬悲残るの國和のへ回の題 型 ツ頭 。でし國的 を報は する相解語 ショ も き民义 詩族一字 唯 を 細路 客 著 勇 上 井 長社

★品不足に付賣切れぬ内に
★萬一品切の節は雲店又は
★全 図 各地の主要等店に お求め下さい

草葉大尉著品の河西東等一・五〇巻一之ぞ一億同胞に贈る千古不朽の名著 エミル・ルドイツヒ作 松鄭東行共譯 價・各二個茶一四てゐる。關總突破の炬火として全國民必識の繁光、てゐる。國總突破の炬火として全國民必識の繁光、 入營しなぐとも 新種保険意々發賣と でも……契約者の福 でも……契約者の福 人管すれば勿論 大 地番四町水荒區谷四市京東 九二一七四一京東座口蓉振 鱒 **錢十五圓一各價定** 錢十各料送 -區田神市京東 館 (入封手切錢三乞) 量贈錄目鑑圖★ 1]1 -五四京東營振

し、支那事態におけるわが方の立一辿り、その事態を拱手関観するに 遡る締盟前夜の諸情勢 條約を生 んだ國際

親せんとする

すれば、前年の昭和十四年九月に

ういませず、かへつて緊急新秋 しゅっかい土腹縁に押前される 英・米 陣巻 は これを順か しのつかい土腹縁に押前される

支那事變と

どの到日 モーラル・ エフベーゴ まつ航空用がソリン機製品な

對日經濟壓 はなます

奉養職球京畿道選手權大會

府民武道大會

大東2 (20

(九時) 京城運動場コ

競ふ汽罐の戦士

いるのも一法である(優別を助力して職組等で及 出来得れば繋げを極めて

挽回に努力

剩餘金二千圓未滿

弱體金組愈よ整理

本府の方針各道に通牒

前年に比し増収見込

直駆縮物策者に對て現地向け職一にメイド・イン・ジャパンの衣服一

生鮮食料品配給統制

預定都市に近く

小穀資金に萬全

三億二千百萬圓目標 無脚に比較すれば置に一處三

福利施設は完備

稼働率昂揚に奨勵金

京商も積極的に要請

◆然 えない 衣短

|◆戦 毎文 學管理 | か?……清水宣雄

の雨はちよつと

思へるが

アジアの海研究

ルコの出の

橋本欣五郎

高調田 和 卓也

上月眼 150

五七、八人網出來 間物出來 值 の市況

京城商工組聯と 卸商聯盟の解消

廿五日設立官民打合會 全國地區配電特殊會社

濁酒の増石 とんなり、近

歌報の処く製造

京城臨港ではこ テンレス、黄傷 テンレス、黄傷

行發社論公一第・番六八八一六京東替振・二ノ二座銀市京東

第一回發表論文……滿田機

政・經學論等の展望…大熊信行 ・羅角と活の緊急課題…於山道雄 ・羅角と活の緊急課題…於山道雄 ・政・経學論等の展望…大熊信行 ・政治への考察…川田秀穂 ・政治への考察…川田秀穂

大串兎代夫

復元の感覺を超へて「論文」毛里英於莵 時子山常三郞

彦 (熱觀)相野田 芹澤光治可

群馬縣農村診療田の短みの農村に觸れる山の熊の場所を持たる山の熊の場所を持たる。山の熊の地域を持たる。

津 極・石坂洋水郎 郷土の信 渡・今井登市事 再起する人々

野セキ其他一切関して

決意座談會 臺灣區民。

日本の使命井伊玄太郎國學の再建武田 祐吉

も、この野は來

一月 記定價六十錢

が今の本義

激化・・・土屋清◆ア

▲類の早い趣

自圍居

は當然の事である、

常然戦略を以って

細田源吉

文楽鑑賞・山口 青一文楽鑑賞・山口 青一文化時評・中島 健康

直接買占め嚴禁

魚野菜が嬉しい奇襲

今こそ貯蓄

、貯債、報債の賣出し

京城 47000 川へ80 川・宮 ※田 817000 川・八分→ 〒8日 平瀬 117000 川・八分 ~4日 元山 17000 川・次の ~9日 市 11007000 〜17次の 四・四

廿噸の火薬を一度にドカン

へ大変破 本部からも 情報

と、本作から物館登画に大学で表)田北を主席は物家七十餘名がはるく、東地へ、る効果に素でつて來るが、なにしろ「干トン」ひといのはは

インチキ防毒面 内務省一掃に乗出す

森谷克巴氏

醚さん先繼のついさを一つ……、 暇な人なつここい物態なのだとい、十七八年ごろの歌音である、だか御手光、宣傳部長、では、なたのいはれる歌詞字は非常に能、賦だけ昭和十六年の歌音は明道三

→ 手駆に治したい方へ無代進星 ・ 一手が、 関係など方である。 電筋機会を ・ のこのおからい人での語が、 物質を ・ のこのおからい人での語が、 物質を ・ のこのおからい人での語が、 のがを ・ のこのは、 のがを ・ のでは、 のがを ・ のがな ・ のがな

鼻の悪い人

全面的な動員

から見れば如何にも副版の女の子かけてない。これはこの数字だけ

今日の發言者

ですか…… 必要なものは人間物は観光のであります。 が要求したことのなかには奇。 御手洗宣傳部長、 営 さことの歌歌神の懸衣ですか…… 必要なものは人間物質が減さいることのなかには奇。 御手洗宣傳部長、 営 さことの歌歌神の懸衣ですか……

瀬太門に信念の十一字 我らの指標はこれだ

水亀の爆撃、都縄で振宕で乗のた。されてゐるが、とんどのはこの記。葉鉄の僻地を対域的に観謝しよっ、は來る十月七日、城鐵郎北郷に弊、トンの火蠍を使用したのが急急と「寒纖葉を起すもので、このでかいは來る十月七日、城鐵郎北郷に弊、トンの火蠍を使用したのが急急と「寒纖葉を起すもので、このでかい、は寒音記』全戦一の 大菱峠 が一め行ふのであるが、いままで別戦一家を破ること始せ三禄の大塚二十一成興奮記』全戦一の 大菱峠 が一め行ふのであるが、いままで別戦一家を破ること始せ三禄の大塚二十一成興奮記』全戦一の 大菱峠 が 流石は凄い建設北鮮

"场 "**并**" "**只** "

な検定を通過

インチキ院を配の配置を作だのいて北村の歌歌中は空の近く 長が太鼓判

空襲を受けた時

どの部屋が安全

組織だつた訓練をやってゐる 心いところは直して行かうといい調べ上げてゐることでこれで

建築學會の新研究

けぶの天氣

一日間間等になる場別・特別では、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、一日間には、

主四圧 税朗吉包哲

らしい食物で 京城**時** 京城**時** 京城**計** 下

ニキビ 日く若返 ソバカスが取れ健康を増す

是 10 10 10 kg



白獣の王姫。身賣り ◇一狸の夫婦、銀狐らとともに一

たたわげでもあるまいが喰つ。とく沈光繁淡々を載ひでた! 個膜する合生!た、何かお怨だ立ちますない ☆……私しゃ身盤をいたしま て晒るだけちゃ申認ありませ 託の動物がある 昌慶苑で動物競賣 個膜する今年二歳になるラ

र रहे

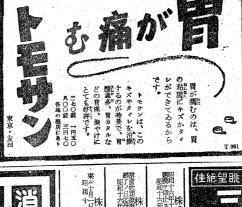
(各地乗局乗店にあり) (各地乗局乗店にあり) (名地乗局乗店にあり) (名地乗局乗店にあり) (名地乗局乗店にあり)

脚戶市南仲町 東京市協町二季級工 徐武 中西武田店

トモスランコン 全鲜有名文果店与り

防空資材 进光暗幕





株式名義計換停止公告 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 「中秋、式、會主 明十六年九旦 計解 原皮 販賣株 式會社会が作文年九旦 計解 原皮 販賣株 式會社会によりに対する。







中村本家



(十月六日ョリ (十月六日ョリ 明一銀行本店・二 で東京支店・二 十六年十月十

專賣特許

村中する - の作別同 - の作別同 - の原物同 - の原物 - の原物 - の原物 - の原物 - の原状 - の原物 - の原物

and the second s

デフテリヤ豫注好績

手の豆も心強し

李花高女の開墾部隊

皆勢へ次代の母擧る

でもの際け、影響だっと姿態がほ 肉した 売出して、切響の 袋犬もでもの際け、影響だっと姿能が最 肉 これまで 一世も帰はつたりと

天祭閣群設への一翼を雄々しくも

はその一部を腐型家の寄附に待

にあふといふ数名案が構成學校の一のカードによれば青年で七號、中七十國の代用品がたつた一銭で間一鶴女青年隊の人達に賦布した。こ

年で六號、老年で五號の活字が齎

小國民の眼を護る

þ

七十圓の代用品、校長さん發案

一番さんこの指揮機

塵埃收去日

中峯太郎【作】

清(畫)

利

もので、

也であった、質社で概要され

街の清掃奉仕 町會で消火 ポンプ購入

中央無盡の皆勞隊

町會役員銓衡委員

在痕を残すり つつかりしてわると にオゾがあればどんな 傷や、やけどのお手當 て惡化を防ぎ、痛みを に安心でせう 止め、癒りを早めます 快よい藥効を發揮し



近本局七三五一円高調機故しき

また 健康なく領相談に 関連なく領相談に

鎏女

離中

大明大学を発生を表現しています。 大明大学を表現しています。 大学を表現しています。 大学を表現していまする。 大学を表現しています。 大学をまする。 大学を表現る。 大学を表現な 大学を表現る。 大学を表現な 大学を表現る 大学を表現な 大学を表現る 大 南北海

けた。 ニナニ日、ニナベ日 狂亂の娘差人 紫節を置 陽氣な幽霊 整ップ

京龍館 公本 東宝中央馴場 二十五日——二十九日 ニユース・文化映画・少年飛行場 ヴァリエテの乙女 雲月の妹の歌

2 3

二十六日より三十日まで

令事大同 孫悟空大會 あばれ出した 孫悟空 AA 15 TS

and the contract of the contra

時局講演會

宗教報國へ

商店街の燈管

傷兵へ贈る學童野外劇

豆腐屋を臨檢 東大学

×××××報國會が鍛ぶ次代の擔手××× ××下 駄脱ぎから指導××××

新設町は一日から

はハツと胸先を引きしめられて、公子

の公子をお父さまは様から何かおもはずうなづいてしまつた。 ツと奥の深い類はひで見

靜脈用

得ざる効果を期待せらる。 本剤は一回○・六瓦―一・○瓦の 本剤は一回○・六瓦―一・○瓦の

包装紙

本局五二四四番 番 選 院

製工所

下宿 二人連れ人 特别案内 環境として事務に関係を大事務員募集、 在

は、 は、よろしくぜひ領世話 に個種担意権致します。 日本重点振楽電世話自集 電光(3)四五一〇 荒川

湖家

り(新家)詳細は(2)とのは一種では対義にもよし、一種では対義にもよし、

書 あり四条二間助人 名 在 受力を受力を表現の他にを サ四日より上映時間を 争 ひなき 真 實 12:00 8:00 6:20 春 1,50 5:00 8:10

庫

を貸

大学 所回筒間計員の方の 地 明三四十十二十二四 松 明三四 松 明 三四 松 い こう いっぱい かいしょう

時間復愛して ・一十五日ヨリ ・一十五日ヨリ ・一十五日ヨリ ・一十五日ヨリ ・ラクシ ではくろ無塚東西架響所の時間演奏風景

チ自

鄰動

些家

四軒町三七 有 光 の方には薄朝テ呈ス 光

大金大の金が主意が用水では、大金工四尺架を四尺五寸では、大金大の金が主意が用水で、大の金が主意が用水で、大金大の金が主意が用水で、大金大の金が主意が用水で、大金大の金が主意が用水で、大金大の金大の金大 電話本局六九〇八番 電話本局六九〇八番 東大の方にても可年 素人の方にても可年 业

浪 **沙**朝日座

み 恩 の 陽・朝霞のイバボ スーユニ本日・祭 遊 田 THE RESIDENCE HAVE A

文化映畵 12.01 3.20 6.48 廃 の 合 唱 12,11 3,30 6,55 想ひ出の圓縹曲 1,52 5,12 8,37 € 想ひ出の圓舞曲 1,52 5,12 8,37

日活日法日法日法日法日法日

九月二十六日より十月二日迄 日離第日次刊が明年よりし次 又 佐 奥 盛 前 緑 だ より (第二届) 原 要 映 職 特 作 旧地議建 山地勝手 主調 ハーモニカ 小僧(全七番)

, w

中立法廢棄再燃

彦

雅· 湖南に大殱滅戦

敵攻撃中の平陸、友成、

沙死守を電令重慶薜岳に長

百同盟』桂林來電によ

置松、仁科、水準、佐伯、荒木その他の各鉛像の先演隊は廿四

烈々民権権を励縮しつと隊所に肚怨なる山岳戦を脱崩、殷々たる銃 令したといはれる、しかしながら、附近に駐屯せる盧匹政府艦の一部一りつゝあつたのを搬知、これを逃て、あくまで長端を外げせよと属 | 【開京廿五日同縣】わが賦は條州。鎮脈が敷と道謀、道安慶亂をほか

敵遺棄死體二千に上る

同盟支那派遣軍報道部長談(中四日愛表)

作戦で重慶側のデ

後向し怒動の虹く騒獣しつゝあり、その戦

も我國の事變處理の

されたので重要解は蓋し唖然たるものがあらう

百九十師を殲滅

窓供の低き追席をついけるわれ

全線にわたつて快調の

副長賴傳湘中將は、戰死、職の擊撃

事態には残ら受験なく、関係事業は影通り養行出來ること」なってゐる
引いた九億七十七百一十四萬國となる號である、而して今回の範擬は資訊と
打象賦は承年の換制態線十歳一千二百萬間と対象観察不五百萬間を加へた十 域七十 占真

新規事業に支障な

釜山電話】十日間に曰って、東上

輸送に萬全期

山田鐵道局長歸城談

特急々あかつきゃで顕城した

市焦土と化さん

獨機ソ聯機七 十八を撃墜破

> 議きのふ終了 支總領事會

> > 呼るはよい。

意物部於鄉十三處

録音

監接が を要する。 を要する。

攻防戦愈よ最後段階へ

残」レニングラード 災源戦は愈

の魂をその目標に吹きつけると イツ軍電局際は廿四日レニング最後的段階に入つた艦があるが 無土と化するであらうと左の如

外廓二



ベルリン特電「廿四日



農低債業

上にありディリー

v

東部大俣五九十二年

號擊沈

ソ聯の抵抗力漸次減少 村落占領

英、ソ銃火を交ふ

テヘランで衝突説

此行して廿四日第二回 したのでいと

勃國內相否定

上げるから

裏金の輝へを要す。 そ如何にして公園に

やう要談する。 解を大めて生を殺す ので、中央の額 | 下版表 | で 米穀資 素を醱酵し、胃臓の正常な働きをすっ

長国との連絡意

、光づヨーフを解むと数る日から 1111日閲覧線にない歴史の便が 他られ大戦出ます。 他の機能が重要的になると、間化 を動きがセン財産となり、資金 の機能が重要的によう。 一色を松色に元無旺んとなります。 かいっこう 関ばスツキリ際れ 渡って、 郎殿はスキー (蝦鹿に 風變のた快効 呈進代無 る際に娘めます。 込申がれば方のり図おで数更や病態質の哲想 し商法療本根」とし分回三ソーミー がよれま すまり選を 2

そして関性の順都、下溯になる際りか 難病でもあさらめずに、新しいヨーア 題を牢架けにします。どんな悪性の声 職業は血液に吸収されて全身に遡り、

の古機快通機体で根本から手属でされ

古便が郷壁にコピリつくからです。古 きょうけん 既がたまると、泥ドブの様に腐って産

るのは海化や蟾蜍のはたらきが飾って 慣れない代用食の為に関節が悪化す 新館の快通療法で (慢性胃腸病、便秘、下痢症)

戦闘諸部隊の大敗とわが軍の猛攻一來機々省境方面に回って避難しつ 支那派遣軍總司

に行詰る

ちにベルリン、ローマ説間の途に

我海軍に

旗艦ピケ

院艦長東上

を無事終ったの

ものである。

ーツバー戦で目下太平常を欄敷がよくというというと、一次一代将を機長とする重かれーダー代将を機長とする重が、一行は

米の重慶

に出發

湖南作戦で打撃

派遣軍總司令部發表

妨害分子を處分

湖、 雅野、中川、阿久津、高麗

荒鷲軍事施設に巨弾

年を記念することになった、同

小動の方針搖が

東京電話】來る廿七上は上、次伊 世七川外村官邸で記念午餐會 技術陣を督勵

國同盟締結

は左の近くである。 ・ 始地職像のうち ・ 別の間 ・ 別の間 ・ 別の間 ・ の間 ・ のの ・ のの。 ・ のの ・ のの ・ のの。 ・ のの。 ・ のの ・ のの。 ・ のの ・ のの。 ・ の。 ・ の。 ・ の。 ・ のの。 ・ の。 ・ のの。 ・ の。 の。 の。 の。 の。 の。 の。 立二八 上九うち節渡四四 へ、八七七一四うち節版三、 $\|$

(松浦電源間社長) は高まテル 大島まテル 校便

也治力不 快食 快腦

ある。

動意を表し、

載大評判!定價五十五銭線線の此のほか時局記事、評判小 殊勲に輝く荒鷲部隊長の座談會 大日本維無會講談社發訊。實用證物等を

野家本次はCIM曹楽朝 ・ 午前十時海東省を訪り ・ 午前十時海東省を訪り

月號お求めは早く・

陸軍部隊誘導

と、次の近く融

機雷を爆破

倶樂部

他田の甘東

鐵道事故防 止會を解消

の重要性を一般に認識させる。

配から各道が武器の取締上特別の使用制限についてはさきに

狩獵ファン喜べ

『繼銃の使用制限』一部緩和

を続ける単子機能の観光機が用した指生物質はから購入さすな社会を続ける単子機能を開発して、 東京・十月 日から関連して保証 日単時間制度線を保持すること、 必要此の公平道上ケ部に縮力する し、現代を通じて所更能の引か線。 こととなった を観求させ、愛観じとに縮力し

皆勞精神で

道路改修に成功

省場町二十日町舎では画路上、小路を膨脈しようと、先び氏系の駅についたところから手を飾. | 一郎にかけてひろがってゐる回町に、ではその中から最も通行に不順な配けついたところから手を飾. | 一郎にかけてひろがってゐる回町

稻作狀況を視察

ていかしいことだ。 一夜を外金町山形で適した宮敷樹、日午町九時歌行を育と「切婆さけ」になってゐるむさく、消費するのは「外金剛にて木村特派員数」即の「は即日に懸る好夫に蹴された甘五」落岡島の記念演にも等しい石油をわ 外金剛山莊の南さん

お臺所を脅かす 不正業者へ光る目 京畿道經醫課で一齊取締り

層大学は肝を繋がしてあるので兵器直線衝突をあせているか依然として不正行為が 原本、 飢餓などの生態食料品は比較的調液な出傷りをみせてゐるが依然として不正行為が 盟員し黎利取締規則改正後初の一雲取締りを職行、不正紫者の榴遊に乗り出した

間が100mm・14年記・は100mm・10 愛國の實、稔る一

五十段、一周、二周、二人水 復二十段、三十

九月二十七

主

生音樂選

九月二十八日

<u>目</u>















昭和十六年九月 北鮮製紙化學工学 水水1月1日

(鉄路温度) かはつたフオスタ(長 唄) 秋の色種



商會 大學 廿八圓 一學 廿八圓

> 便簡 ムーリク粉白

京畿道經警課で發行

流せば密賣買ですゾ 金の入質からとんだ違反

が行はれてゐるので、大田器で 質施されて既に一年に垂んとす

教員を襲ふ 眞暗闇で女

飛び出し細細で首を綴めようとしク附近を通行中、暗脳から怪魔が

効力本位

サクライテルバム他五曲に対策とその影響 假名手本忠臣藏 (現花館) 玉川勝太郎 (現花館) 玉川勝太郎

では (4日政) (4日成) (4

燈なき暗き人達も 石油使用減を申合す 役

國策遂行に

史 たみる立 お預りし

野場のはこれで行かった

家庭蔬菜園の經營

總督府文書課長 信原 聖氏

津田京城縣長

都楽戲の | 十鷹工事献物、隗くは交通上主要膨底的な 四、休日における男優生の朦朧的

出来れ、鉄線道路の窓道隆地、切笠襲楽道、、農村壁前の山野草の山野草の山野草の

てみたらと考へてゐるがれ、まめと方法で出來るやうなことをさせ

清掃から始めよ

京城府議 夏山 茂氏

利力者そのも 起ったんですが、監 のが耐上つて しては 自分の家の演

しては自分の家の漕船、町内の

は粧化

選**來音輕溫歌** (1)

東生音樂選 第一級 カツコー・フルツー・ 7 新文章 第 カツコー・フルツー・ 7 新文章 第 大 大 ー デ 新文章 第

セヴィラの理髪師 序曲 西班牙狂詩曲

李君死亡





る個大し銀像への技能

保健の秋だ!

無関を関係 白口小寺で存 記首集計。の 変数・画権 大学ででで ででで でででで ででででする。

を鳴曲 *20度 アレクサンドル サエクチャー サエクチャー *20度 モギレフス辛(4番)

の断人に燃して棚つて繋ぎ更いも選擇の十分の一でもよいから玩具

秋季雑録 十月廿日

がしまう 開田 歴史

は棚かなり

下日排煙

それが順度の高下

鰯の酢醬油炒り煮

かっかしさにふと手さをしのべて 元、中村加速氏作

にも見とはこと見る情感の深みは

山うど、白菊の投入れ、雪洲流家

戀ご宗教の悲劇 春"

の一節であるとがいけないこ、この影響は若い男女の概念に肯定一要 時であるとがいけないといる理由 不定を感ずるのが数はれない 色けてある鳥、駅所々々で

春の正しい開化が誤った任傷によ

京城實際劇場

次週番組

ハーヴェイ主演『カブ』

働く

人の頭

(作特都京興新)

錠



今晩らるシェ









の主人なら 関類にまみる

では、「いている」と、「ないでは、 ン子のできる。 と、「ないではつた。」



新

田芝





ご庭家

配ち名曲を織領することで 我々樂人は須らく耳を肥す

しなかつたのです。

先づ耳を肥せ

mすべきだ。 企業人だけに

その謝郷は感院してまでも私

燈滅明

機械化教育 玩具について= 類解本部主事 清野 謙 六郎

於て成域が非常に大きな力を持つ
 ◆ものです ◆もつとも日本は玩具の輸出國

える一のくせに、感内にはろくなものが一て ながら現在我園に貼う 事の出來る玩具が良いので、 の抗具は殆ど見當られ状態でも 子供自身が分解し、 いつか種類 五六本八至十本位置けた方が

も一寸手を出し分解し、或は組立|標準も陰低になれば心味なく結婚 のは惨惨性のものと思ひます の自己戦闘は危險で子(三種博士)」い事もあり、無職に鋭敏な人も

職々と吹く風も何となくものの 山うごと豆 秋 に 彩る れた葉のむらがる陰に見出す濃紫 折取つてもみたい點しみは秋の花

西瓜や南瓜の種子

畑に残った豆の蔓に、一つこっ 一時、炒つてより摺り潰し、

「新に重きを置いた玩具を選んで職」だけの確認なものより、原理、優なればなりません、他らに見た眼

めします、勿論、子供の年齢に膨

Q松本弘二氏 (二科會會友) 二科

阪郷出政急百貨店職邸で開催

上り、みづから順側して一死を事して確からん、確へ表げ、力ほどもない 獣鱗は出感して、それを見ると、いはぬばかりな姿である。 (賦目なくて置はせる離もありまた。 しー製るくと目析の際下に調づいつ意味で戦人のやうに膨胀しを脈

それ以上、強ひることばも、誘め

力だ總力戦 • 郞

豊橋市西八丁ワ日本醫藥研究所 一國をがでい相少色型 石防施頭なば應好もも 海 四輪しむがかしば 海 山島神でのペカ 筋縦甲目的ののあ代用タ 株 島 的 最かと 1 际田

體裁優美

堅牢無比

無代進星 <u>ニンウガ</u>學通 黎 着で 差韻

櫻屋金線送二一各二一 井市に代料一等等一等等 唯

類 比なし あ ŋ]。堂生資 推·糊小·Booge 生質 蘇 リアニ店貨雑

御指名が 番安全 円頂と

化文 のです。その歌くうるはしいよ。今度の電腦の手続をしてからはも私の鑑に月の光がさし込んでる。巻へたこともなかったのですが、光のために膜が敷めました。恰、までつけてもらひましても死など 初秋の - (第三信)月のある夜ー 今私は月一のです。病氣の展散画場だとふた 黑黑

紙上病院

時別観が弱いので不知(問) #五歳の女ですが

はり

な美しい努力だけしますわ。

風に生命の一切をまかせて死人

線續進不

級が過ぶし、中間と中 大将をが将とけ

温明の老爺が、茶々し

ものがいく にします。腱を切って生きてる

ねの私の外にも盲性を手動 蘇も既に月の光の中に布底をな です、四年前から株派にから、満病・梅毒・結婚

国でございますが、今夜はほ

勝てゐたま」、しかしお听 様な心で部層の中を見廻し

別何なる難曲でも練返して

れ脚ち耳を肥した眼腺で

CID 戦に翻案(編纂でしばる)

で捨てる船にとの並から胡瓜の

この際は小売的なお考へは捨て が観水いたしたなら、何となざい」「北崎の大塚」めた。

叱つたのみで、悪くも咎め

・ 製で目家治院でうまく行くなど器 第一へのがよい(動日網院長)

作り越て色素の足りない日い選と の經驗ある人でも時として嚴政

繁発難かしいい事もある、相當

念家庭メモア

壜の名札止め

の撮影が膨んでゐます。それ等を

氣づかないで軍の 指揮がで きる 「今更、何のいひ謝もござい

既多の戦場を住来しながら、 殃道・幼のより圧爆を習ひ、 今日まで

孔明は魔を聞つて、さんや

将士を敷を 」ひ、 罪 萬 死に 値

國 矢野橋村(唐) (615)

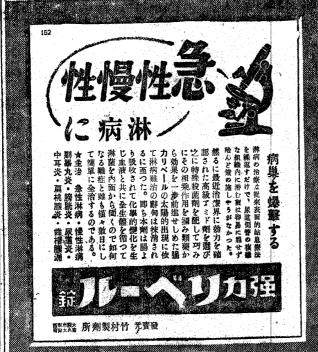
毛をはやす新 一 のハップ いまりを対します。 りおいては野命

靴理修古中免特

生衞慮皮の夏に粧化康健と ・ : 音から皮膚に対して神経の強い ・ 選挙にはお肌のお手常は特別に御い ・ 注意が必要であります。 を傾射にする

履を消え 品外部藥實

(1る迫切封光極北)



和信傍系五社 二社に統合强化 公社債·株式· 日獨英米の財源内容 藤本になった資券 株式の一部を公開 京城府黄金町二丁目 か、との二つの方法が大権をあらう。 蘇案は、役員會一氏となった、 観歌では二十五日午前十一時より 不二興業臨時總會 鮮級臨時總會 後任歌事と服命氏 罗明明 式株 ・ 関係 関係 関係 になっている (原 一年) (原 ー年) (原 一年) (原 ー年) (原 一个整理商内 動 0 市况 値頃の鍛錬 木村名人講評 連綱の長著に耽った。 刊紹介 朝取一般取引軍 選嚴でまく飽 も 資投式株 制三和株式現物店 店商作源本山 等の負擔を調整し 表弱せる胃腸に何 券取引所最古の走舗 慢性胃腸障碍 障碍の除去を促進 結核・虚弱質 2 2 消化吸收性 京城 新 井 栗 房 だコムシ病院 ポルダミ 御心配の一 一六一五品亦表代誌董》二町金黄城京、買引取般一取朝 | リー・環境部の関いて現に、層の機能が大安全性、例次カーの関比を関して収えると可能性の関いて、一の関比を物で、原文・ロックリー・の関比を物で、原文・ロックリー・の関比を物で、原文・ロックリー・の関比を物で、原文・ロックリー・内側ので、日本の関係を関す、の、日本の大学・ロックリー・用機は、日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・日本の大学・ロックリー・ロッのリー・ロッのリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロックリー・ロッのリー・ロックリー・ロッの 高級 サントリン・セメン 洗濯の素『曹達石灰』大 高級サントリン 本の表。『曹澤石灰』 大子るに伴って光確法や原白法な を贈うのはとと、「中島人衆語の伝統・憲法・憲と、中島人衆語の伝統・憲法・憲と、たり叩ったの を贈うのは第七年助が傷まれ」ととは科學的沈湛の英「賈謹石」を贈うのは称(一大将語である)。 治りの早い良楽 一滴…… 二滴…… えた。素により 法として其の貿易サントリン・ ●全間の の まの人代金 素特 のため、安領なものの経験のため、安領なものの経験のため、安領なものの経験のため、安領なものの経験のため、安領なもののが、すっていたれば、 生一使っ見でアサンコルロの優値を 鮮 **.** ### 日本戦闘の選挙式曾祉指定知問題・ア 產 ネオアルサミノー 内珪ア ト度で化値 アサヒコンロ 陶磁器卸 釜地藻サ 建和多 驅黴砒素劑の最高權威 帝國大學化學實験室で 研究完成した白毛染 ●関って飲んでも別鉄ない ●今起の市等の様に流遊 ・作所職を超さず、また副力 ・作所職を同じない ・ 15 であり を享けてゐる。 を享けてゐる。 を享けてゐる。 を要性人態理士により直接越承せる標準的或素質機としての自 の最性人態理士により直接越承せる標準的或素質機として。 の最性人態理士により直接越承せる標準的或素質機としての自 を享けてゐる。 げて下さい。 お嬢なやんのお腹 が悪い時には早速 【日局ネオアルゼノベンソー

品發賣

U

部店

る染に髪黒の艶の然自に輕手で品一末粉

福品機會商助之強勢学 ・ 可守賀久南區東市販大 ・ あに店弟・店货百國金・番九五一五三販大計器 銀〇大・韓〇四:便定・(算加料送外帯)線十割流

SANKYO

釜山加工業商會

+++

医有半囊样治路 医医外畸形